

<真剣味> 9 3

2019. 1. 30

今年に入ってもうひと月が経とうとしております。だいぶ遅くなりましたが、今年の第1号のブログです。目だけでも通してください。今年もよろしくお願いいたします。

新年度スタート

○2019年の新しい年が始まり、わが家では毎年同じ行いを続けております。3日には護国神社での初詣、7日には七草粥を食す、14日には賽ノ神に参加する。ただ毎年同じことを同じようにこなしていますが、ただ「気持ち」や「課題」が違います。

とにかく、今年は家族みんなが健康で、充実した生活ができるようにという基本的な考えで、さまざまな行事に参加し、また作って食しました。だから面倒くさいとか忘れてしまったということは、絶対にありません。今年の基本である「健康と充実」を心に持ち、自分の目標クリヤーに向け、チャレンジしていこうと思います。**頑張らずして、結果だけのぞむのは失礼！**

○チームとしては5日（土）から練習に入り、6日（日）には新潟市内のリトル・リトルシニア合同による祈願祭、そして20日（日）にはチームによる餅つき・選手による今年1年の目標発表。そしてチームとしては3月の遠征まで土台作りを中心に練習に集中していきます。

ライバルのあり方

○2019年1月5日（土）新年の練習スタートから、練習会場のビニールハウスの中が選手の汗で白くなっていました。初日の練習から選手達は目一杯動いているということだと思いました。これは今年にかけの選手達の気持ちの表れのように思われました。毎回書いていますが今年のチームはまだエースと呼べる投手がいないこと。それによって試合運びがとても難しくなるということです。

そのためにも身近で考えれば、チーム内で共に競える、そして共に伸びていく選手の存在が大切になると思います。だから、本気で練習し、そこで競い合える選手を見つけてもらいたい。

そうすれば「相手の練習の仕方を見る、そして真似をする、コミュニケーションをとる、良いと思ったことはすぐ取り入れてみて自分に適合するか確認する、適合しなければ自分に合うように微妙に変化させる。」ただ自分の練習だけをコツコツ取り組むことも大切なことですが、自分が目標とする選手を意識しながら、また互いに刺激し合いながら活気ある練習に繋げていってもらえると、共に伸びていくはず。まずは3月まで必死にやって見ましょう。

○春季大会の試合では、「一つのミスから」負の連鎖で大きな綻びに繋がるような弱い心は、シャットアウトできるレベルまで伸びていることを期待します。

新入団選手現在9名

○今日現在、9名の6年生が入ってくれました。

サマースクールを通して、新潟江南リトルシニアについて少し紹介させてもらい、また体験練習で野球環境や選手の様子などを見て頂いております。特に保護者の方には協力して頂き、とても感謝しております。その甲斐あり、何とか新1年生で試合ができる、9名に到達しました。これで安心することなく、さらに「新潟江南リトルシニアで、共に野球がしたい」と入団していただけるよう努力していきます。

嬉しい出会い

○わが家の年末行事で12月に「かぐらスキー場」に行ってきました。今回はスキーの話でなく、風呂場での会話を書きました。相手の男性の方の話し方で教員だと思いました。子供さんが小学6年、男子、少年野球をやっている。共通点が多いところから、更に、さいたまの方、今リトルシニアを探している。そこで我がチームが12月にさいたまに遠征したこと、そして家の子どもはすでにリトルシニアに入団していることなどを話す。共通項がこれだけあると、会話もスムーズに進むものだと思います。またどこかで試合ができればいいなと私は思いました。